



桃五だより



No.606

(12月号)

2021.12.1

杉並区立桃井第五小学校

<https://www.suginami-school.ed.jp/momo5shoubg/>

関わり合いが子供を育てる

副校長 日向 須真子

徐々にですができることが増えて、本校が力を入れている「自立」と「共生」が行える場面が増えていきます。

まずは、音楽会が無事に終わりました。子供たちはそれぞれの役割やパートの練習を頑張り、友達と協力して関わり合いながら素敵な演奏を披露してくれました。

この音楽会を成功させるために、陰で教員がどんな取り組みや苦勞をしていたのか、少しお知らせします。まず、歌が歌えない。リコーダーが吹けない。鍵盤ハーモニカが吹けない。できないことだらけの1学期でしたが、11月には音楽会が行えるであろうと想定して、できることを行っていこうと準備を進めてきました。まだ、コロナの流行の真ただ中でした。

教員がピアノ伴奏の練習をする必要から、最低でも夏休み前にはどんな計画で音楽会を行うか決めなくてはなりません。歌は、距離を保って歌えば大丈夫であろうこと。楽器はできるだけリコーダーや鍵盤ハーモニカを使わずに演奏して行うことで進めました。鍵盤ハーモニカの代わりに電池で音の出るキーボードを購入したり、プロの和太鼓奏者を呼んで演奏方法を教えてもらったりと、様々な手立てを講じて実施を目指してきました。

せっかくの音楽会。保護者の皆様にぜひ聞いてもらいたい。でも、コロナの感染拡大は避けたい。どんな鑑賞方法なら安全なのか、学校は何回も何回も話し合い、実施可能な方法を考えました。保護者の皆様には、入場や鑑賞で様々にご協力いただきありがとうございました。また、PTAや支援本部、おやじの会の皆様にも、お手伝いをいただきました。おかげで無事に音楽会を終えることができました。

次は、子供たちの関わりがより濃厚になる移動教室です。6年生が弓ヶ浜の移動教室に行くことができました。昨年は富士学園移動教室に行けなかった6年生です。今回こそはと、児童はもとより保護者の皆様、すべての教職員も願っていただけに、本当に行くことができよかったですと思いました。現地では、二日目には突然の大雨にあいましたが、ずぶぬれになりながら地層の見学をすることができました。子供たちの「自立」と「共生」の力が大いに発揮され、無事に行ってくることができました。これも大切な思い出となったようです。

他には、社会科見学や生活科見学など、1年生から4年生の各学年で計画した校外学習が、安全に協力して行えたこともうれしく思います。オンラインでは味わえない関わりや学びが詰まっていたと思います。

できることが増えるに伴って、友達とのトラブルや自己中心的な行動も散見するようになりました。自分の気持ちや思いを優先させるのではなく、相手の気持ちや立場に立って考え、周りの状況をよく見て行動するように教員は伝えています。関わり合いや、トラブルの解消法を知ること、学校だからこそできる学びであると考えます。登校してくる子供たち、登校させてくれる保護者の皆様、そして見守ってくれる地域の皆様に感謝です。今後も子供たちが安心・安全に関わり合い学べるように指導していきます。

もう12月。いろいろありましたが、いい一年だったといえる年にしたいと思います。残り二十日余り、「自立」と「共生」を意識して、日々の関わりを大切に過ごさせていきます。よろしくお願ひします。

12月の生活指導目標 きれいな学校にしよう

身の回りがきれいだと、気持ちよく過ごすことができます。子供たちがすすんで掃除に取り組み、隅々まできれいな桃五小にしていきたいと思ひます。

また、「学習しよう」と思ひたときに、「文具が見当たらない」「机の回りが片付いていない」ということで学習意欲が低下してしまうことがよくあります。使った物の片付けや、持ち物の整理整頓が重要です。ご家庭でも、学習道具の確認や整頓の声掛けをよろしくお願ひいたします。